

みずほCustomer Desk Report 2023/03/01号 (As of 2023/02/28)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	136.34
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	136.33	1.0609	144.63	1.2061	0.6741
SYD-NY High	136.92	1.0645	145.46	1.2143	0.6757
SYD-NY Low	135.73	1.0574	143.87	1.2018	0.6704
NY 5:00 PM	136.23	1.0576	143.97	1.2018	0.6729
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,656.70	▲ 232.39	日本2年債	▲0.0400%	▲0.0100%
NASDAQ	11,455.54	▲ 11.43	日本10年債	0.5000%	0.0000%
S&P	3,970.15	▲ 12.09	米国2年債	4.8169%	0.0365%
日経平均	27,445.56	21.60	米国5年債	4.1845%	0.0141%
TOPIX	1,993.28	0.50	米国10年債	3.9259%	0.0050%
シカゴ日経先物	27,425.00	▲ 110.00	独10年債	2.6400%	0.0550%
ロンドンFT	7,876.28	▲ 58.83	英10年債	3.8220%	0.0155%
DAX	15,365.14	▲ 16.29	豪10年債	3.8450%	▲0.0450%
ハンセン指数	19,785.94	▲ 157.57	USDJPY 1M Vol	12.10%	▲0.14%
上海総合	3,279.61	21.57	USDJPY 3M Vol	11.61%	▲0.21%
NY金	1,836.70	11.80	USDJPY 6M Vol	11.18%	▲0.05%
WTI	77.05	1.37	USDJPY 1M 25RR	▲1.65%	Yen Call Over
CRB指数	269.84	1.24	EURJPY 3M Vol	10.70%	▲0.31%
ドルインデックス	104.87	0.20	EURJPY 6M Vol	10.66%	▲0.22%

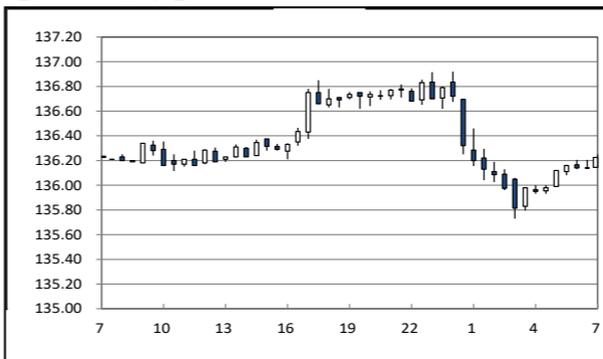
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月28日	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	1月 -4.6%/-2.3%	-2.9%/-0.7%
	16:45	仏 CPI(前月比/前年比)・速報	2月 0.9%/6.2%	1.0%/6.1%
	22:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	1月 -0.4%	0.1%
	23:45	米 シカゴPMI	2月 43.6	45.5
3月1日	00:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	2月 102.9	108.5

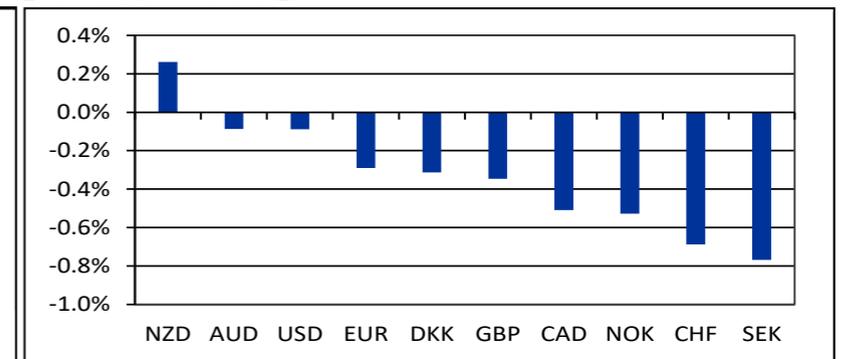
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月1日	09:30	豪 GDP(前年比)	4Q 2.7%	5.9%
	10:30	中 製造業PMI	2月 50.6	50.1
	10:30	中 非製造業PMI	2月 54.9	54.4
	22:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	2月 0.5%/8.5%	1.0%/8.7%
3月2日	00:00	米 ISM製造業景況指数	2月 48.0	47.4

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	135.50-137.00	1.0500-1.0650	143.00-145.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は行ってこいの展開となった。欧州時間にフランスやスイスの2月CPIが市場予想を上振れたことで、EUR買いが進行。加えて、グローバルにインフレが止まらないとの思惑からドル円も円安で反応し、12月以来の137円台に迫る展開となった。しかし、その後、米指標が市場予想を下回る中で、円の買戻しが進み、135円後半まで下落したが、引きにかけて再び136円台に乗せている。本日のドル/円は東京時間は上値の重い展開を予想する。新しい月に入ったことで、136円より上のゾーンでは降りどころに見える。一方で、欧州時間ではドイツPMIが控えており、昨日同様に市場予想を上回り円売りが加速する可能性もありそうだ。それでも、昨日超えられなかった137円台を超えられるかは米2月ISM製造業景況指数次第と思われ、昨日同様に市場予想を下回れば、直近強い指標が続いていただけにドル買い一服材料となるかには注意が必要となりそうだ。

東京	東京時間のドル円は136.33レベルでオープン後、年初来高値圏でのドル売り圧力は根強く仲値前後にかけては上値重く推移。136.12まで下落したものの、一巡後は底堅い米金利を眺めながら、じり高推移となると結局136.30付近まで値を戻し、136.29レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、136.29レベルでオープン。引き続き上値重い展開で推移した後、仏/西2月消費者物価指数が予想を上回り、ユーロ円とポンド円が上昇。クロス円の上昇を背景にドル円も上昇し、136.69レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は136円台前半でスタート。東京時間では方向感乏しく推移するも、欧州時間ではクロス円の上昇に連れ高となり、一時136.85まで上昇。買い一服後も136.70近辺でもみ合い、136.69レベルでNYオープン。朝方は昨年12月以来の137円台回復を試す展開となり、高値136.92をつけるも、米2月シカゴ購買部協会景気指数や米2月CB消費者信頼感指数が予想以上に悪化したことも重しとなり、その後は伸び悩んだ。また、月末持ち高調整の円買いが持ち込まれたこともあいまって一時135.73まで下落。午後は売りが一巡し、じりじりと上昇。結局、136.23レベルでクロスした。一方、海外市場のユーロドルは1.06台前半でスタート。アジア時間では1.0583まで下押しするも、フランスやスペインの2月CPIが予想を上回ると欧州圏の高インフレ環境の長期化懸念から欧州通貨の買いが強まり、1.0627まで上昇。その後も欧州の短期金融市場がECBのピーク政策金利を巡り、初めて4%まで織り込んでいく中、ユーロドルは1.0610近辺で底堅く推移し、1.0618レベルでNYオープン。海外時間の流れを引き継いだユーロドルは1.0645まで高値を更新するが、その後は月末のポジション調整が進む中、欧州通貨の売りが強まり、朝方の上昇分を吐き出した。午後も下値模索の展開となり、1.0574まで下落。結局、1.0576レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 甲斐・鈴木